

第 19 回 群馬県道場対抗空手道大会 要項

- 1 主催 群馬県空手道連盟
- 2 後援 群馬県教育委員会、(公財)群馬県スポーツ協会、前橋市教育委員会、前橋市スポーツ協会、上毛新聞社、群馬テレビ、群馬県武道振興会
- 3 日時 **令和9年1月31日(日)**
- 4 会場 ALSOKぐんま武道館(大道場、第2・第3道場) / 第2・3会議室
- 5 種目 《計10種目》
 - ◆少年団体組手(小学生男女…低・中・高学年ごと、中学生男女)
 - ◆成年団体組手(高校生以上の男女)
- 6 大会進行

役員集合	8:00	選手受付	8:30 ~ 9:00
審判会議	8:45	開会式	9:15
競技	9:30	閉会式	15:30
- 7 競技規定 (公財)全日本空手道連盟(以下「全空連」と記す)競技規定に準ずる。
 - (1) 団体チームの編成は、正選手3名、補員2名以内 計5名以内 とする。
1チームの構成が正選手の過半数であれば、エントリーを認め、その場合は先詰めとする。競技は、トーナメント制とするが、参加チーム数によっては、リーグ戦とすることもある。
 - (2) 各道場からのエントリーは、1種目につき2チームとする。高体連加盟校からのエントリーは、1校1種目につき1チームとする。なお、高体連加盟校同士の混成チームは認めない。
 - (3) 所属団体における重複登録は認めない。(選手のレンタルはできないが、道場にも登録している高体連加盟校の選手の道場からのエントリーは認める。)
 - (4) 競技時間は、1分30秒のフルタイムとする。
 - (5) 勝敗は、以下に定める。
 - ① 個人の勝敗は、競技時間内に6ポイント差、同点の場合は競技規定により勝敗を決する。
 - ② チームの勝敗は、試合の勝数、総ポイント数、代表者決定戦の順に決定する。
 - ③ リーグ戦を行った場合の勝敗は、チームとしての勝ち数で決定する。これが同数の場合は、勝者数、総ポイント数、直接対決の勝者の順に決定する。
 - ④ 団体組手において、1、2回戦は勝敗が決しても大将戦まで行う。3回戦以降は勝敗が決した時点で試合を終了する。
 - (6) 安全具を装着すること。(全空連検定品)
 - ① ニューメンホーV~VII
 - ② 拳サポーター(赤・青)…小学生は、赤青のリバーシブルとする。
 - ③ ボディープロテクター(全員着用)
 - ④ セーフティカップ(男子のみ)

⑤ インステップガード、シンガード

小中学生…全空連検定品 高校生…高体連指定品

一般…高体連指定品、全空連検定品、WKF公認の赤青

8 審判員 群馬県空手道連盟公認審判員

9 参加資格 以下の条件を満たす者。

(1) 全空連及び群空連会員登録を済ませている者。

(2) 全空連・群空連公認の級位、全空連公認の段位を取得している者。

10 表彰 各種目とも、3位までとする。

11 参加申込

(1) 申込期日 **12月30日(水)** : 午後8時までに、**メール必着**

(以降、一切受け付けません=受信ボックスを開きません)

(2) 申込受付担当者

小屋 敦嗣

大会申込メールアドレス: gkf.taikai@gmail.com

問合せメールアドレス: gunkuren@gmail.com

(3) 参加費 団体種目一種目一チームにつき 6,000円

大会7日前までに下記口座に振り込むこと。

振込は必ず道場名等で送金し、道場名等の前に「6」と表示する。

【例: 6 グンクウケン】

手数料は申込者が負担する。

振込先 群馬銀行 太田支店

普通 2347835

群馬県空手道連盟 財務委員長 藍 正弘

12 参加条件

(1) 出場選手は、白布（またはワッペン式）で作成した胸マーク（胸マークサンプルページ参照）を、左胸にしっかりつけること。つけていない選手は失格とする。チームは同じ胸マークとする。

(2) 選手は、頭髮・爪に注意し、清潔な空手着を着用すること。その際、会派等の記章は、取り外すか白布等で隠すこと。

(3) 参加団体の責任者は、選手（高校生は除く）をスポーツ安全保険に必ず加入させること。

13 事故の処置 応急処置の費用は大会事務局で負担するが、その後の処置については各自で負担すること。（保険証持参のこと）

14 備考

(1) 申込書は、必ず会員番号を記入すること。（記入のない者の参加は、認めない。）

(2) 高体連加盟校の参加申込責任者は、学校長とする。

(3) 参加の団体は、1名以上の競技補助員の協力をする事。

(4) 低学年は1・2年生、中学年は3・4年生、高学年は5・6年生で編成する。

※大会に関する緊急連絡はホームページを御確認ください。